

ライフノベーションの推進

【京浜臨海部ライフノベーション国際戦略総合特区】

◆革新的な7分野の研究開発を横浜プロジェクトとして推進



診断 (早期発見)

脳活動画像表示システムの開発

・ヘルメット型の測定装置を用いた脳活動画像表示システムを開発し、アルツハイマーなど認知症の早期診断やリハビリの効果測定を目指す。
・現在、実用化に向け、横浜市立大学附属市民総合医療センターにおいて実証実験を重ねている。
【脳機能研究所(株)】



医療機器開発

腹腔鏡下手術のシミュレーターの開発

・患者のCTやMRIデータをもとに、臓器や血管などを再現し、患者ごとの術前リハーサルを可能とする機器の開発。
・25年度に一部製品化し販売。
【横浜市立大学、三菱プレジジョン(株)ほか】



再生医療

IPS細胞の産業応用

・新規薬剤候補の毒性評価に用いる、ヒトIPS細胞由来の心筋細胞の大量製造システムの開発。
・現在、大量培養可能な心筋細胞の製造方法や品質管理手法等を検討中。
【(株)リプロセル、東京女子医科大学】

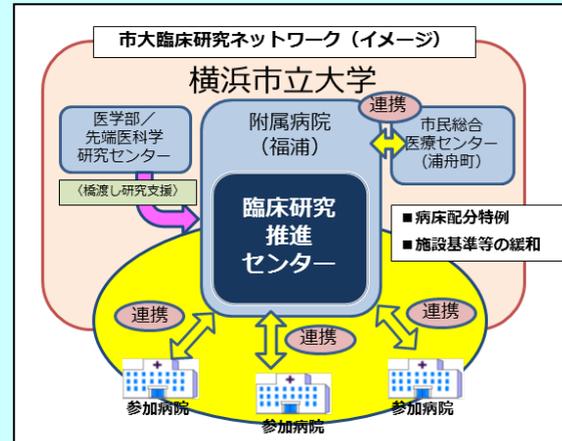


国際戦略総合特区の区域 (市内12区域)



【国家戦略特区】 H26.10.1 区域計画素案に掲載済みの事業

◆横浜市大の臨床研究ネットワークによる高度医療の開発促進



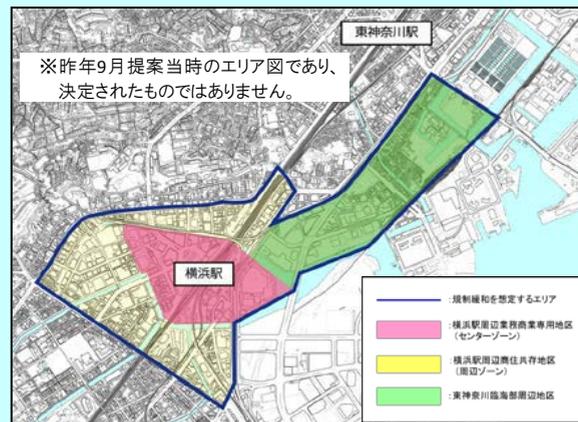
医療法の特例による病床規制の緩和を活用 (新規病床20床を確保)

臨床研究症例数増加による研究成果の早期実用化

画期的な薬の開発
・神経疾患等の診断薬
・インフルエンザ等ウイルス感染症治療薬

国際的ビジネス拠点の形成

◆横浜駅周辺地区のリノベーション



建築基準法の特例による住宅容積率緩和を活用

【事業主体】
横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発準備組合

高規格な住宅の整備
◎外国人居住者等の生活支援機能

・保育施設
・サービスアパート など
◎優れた防災・環境性能